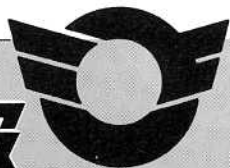


保育園からこんにちは

おとうさん、おかあさんのかお
たぐちてつやくん（5歳・西洞）
神土保育園



No.339 5/15

広報 ひがししらかわ

■発行 東白川村 ■編集 東白川村企画課 ■〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土648番地
■ ☎05747>8-3111・内線26 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷株式会社



＝やったノ喚声をあげる親田子供会の良い子たち＝



＝架線の専門家が応援＝

泳いだ！100匹の鯉のぼり

左広川の上空高く、V字型の山から山へ、立村100年を祝って100匹の鯉が泳ぎました。

子供たちの夢も鯉といっしょに5月の風に乗って大空を泳ぎました。

人口の動き

－4月末住民登録人口から－
世帯数……………911世帯
人口……………3,524人
転入……………15人
転出……………17人
出生……………3人
死亡……………4人
先月と比較して3人減
昨年の同月と比較して42人減

歴史の実りを未来の糧にノ東白川村・立村百年＝

東濃松の名前を活かして

いま、戦後一番目の住宅建築ブームといわれています。その中で東白川村の建築業はどうなっているのでしょうか？

もともと私たちの村の木造建築は、「注文住宅」と呼ばれる一戸建の住宅建築が主流ですが、「東濃ひのき」の名が知れわたるに従って、同じ木造住宅を建てるなら、銘柄材のひのきの柱を使って……と選んで下さるお客さんも多くなっています。

今回は村の木造住宅産業の周辺を探ってみましょう。

木造建築は

村の代表的産業

東白川村の住宅建築は、いったい村全体の産業の中で、どのくらいの位置にあるのでしょうか。

正確な統計はありませんが、東白川木造建築組合の調査によると、平成元年度中（四月から翌年三月まで）に着工する見込棟数はおよそ百棟ということになります。

一棟あたりの請負金額はまちまちですが、村の産直住宅建設促進事業の補助対象となった住宅の棟あたり平均請負額は、約千七百万円となっていますから、これを掛け合えると、一年間におよそ十七億という数字になります。

百棟と

いう着工棟数は十五名の

木造建築組合員だ

けの数字であり、

さらに村の促進事

業の補助対象とな

るものに限られて

いますから、建築棟数のす

べてを集めれば、これより五十

パーセント程度上廻ると思われ

ます。

ですから、村の木造住宅産業

全体の年間売上高は二十五億円

前後と推定されます。

特産白川茶やトマトなどを含

む村の農業全体の年間粗生産額

が約九億円、森林組合の木材市

場の年間取扱いは高二億六千万円

などと比べれば、はるかに大き

い村の重要産業であることが分

ります。

ここで、もうひとつの側面か

ら眺めてみる必要があります。

それは二十五億円という売上げを、何人の人で稼ぎ出しているのかということですが。

多勢が支えている

東白川村の建築業者の数は三十三あります。

もちろん規模の大小はありますが、企業としてのランクはいずれも中小企業の範囲に入ります。経営体としてはこの三十三の

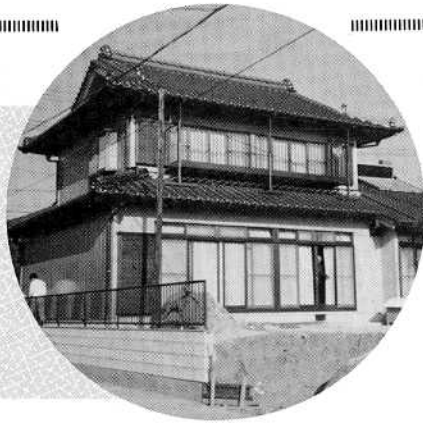
業者の皆さんが二十五億円を売上げていることになるわけですが、その売上げがすべて建築業の経営者のふところに入るわけではありません。

一番大切なポイントが、これから建築業にたずさわっている多くの職人の皆さんがこれを稼ぎ出しているということです。大工、基礎工事、左官、板金など多くの職業の総合体が、村の木造住宅産業なのです。



どうしても東白川の家を……と注文して下さった神奈川県秦野市の現場

住宅



村の産業を考える = 1 =

伸ばせ 木造



人材育成が

これからの課題

東白川村の建築業にたずさわる人たちはおよそ百人、その職種は、大工、土木、板金、瓦ふき、電気、水道、建具、左官内装、など十種にも及びますが、このほかに東濃ひのきの柱をはじめ材料を供給する製材が地元であり、そしてその製材へ素材を供給する七千ヘクタール余の山林があります。

いわば東白川村の木造建築産業というものは、村の総面積の九十パーセント以上が山林という条件の中に生れた、最も地場産業らしい産業であるといえます。

しかし、近年この建築業の分野にも後継者の不足が深刻な影を落とすつつあります。前にものべたように、多くの職種職人の腕によつて一軒の住宅が出来上り、村の木造住宅産業が成り立っているのですから、将来にわたつてこれを発展させるためには、



今井正明さん

りません。

東白川村商工会では、数年前から建築業の優秀な技術者を養成するため、技能士の資格取得に力を入れて来ました。

その結果一級技能士二十名を含む三十三名の技能士が資格を取得して、これらの人々が中心になって建築部会が構成されています。

東白川村の木造建築業は、この技能士集団によって支えられているのです。

一級技能士の今井正明さん(柏本)は「大工という職人にはサラリーマンのような、きまつた勤務時間や月給制は無く、社会保証制度もない、しかし職人はサラリーマン的な考えではやっていけない。

ここらあたりに後継者不足の原因があると思う」と問題点を突かれました。

このような事情から、職人さん不足で、腕の良い人が強く求められているのは事実であります。

これからは建築業を経営する人たちが、自分で専属の職人さんを育て、十分な報酬と社会保証を確保することが必要になる

職人さんが育つて行かなければなら

のではないでしようか。

そのために、個人経営から会社組織へと建築業経営の内容を進歩させていくことも課題となるでしょう。

村では、このような人材育成を支援するため、立村百年を記念する事業として「人づくり研修事業」を平成元年度からスタートさせたいと考えています。

建築業に限らず、すべての分野で、人材育成のアイデアがあったら、ぜひお知らせいただきたいと思ひます。

終の栖

岐阜市 中丸武司

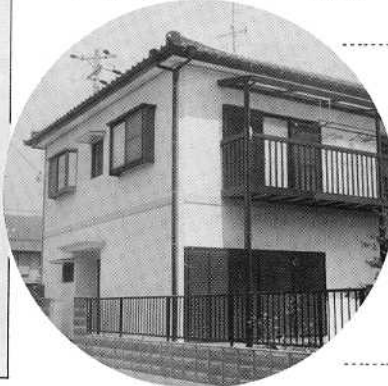
人は、特に都会人は生涯の中に自分の家を持つことが最大の望みであると思ひます。

私も数年前から家を建てることを考え、暇を見ては各地のモデル住宅など見ながら、いかに住み良い家を建てるかということとで、何回となく間取り図を書き改めてきました。

今回、いよいよ建築の段取りになり、さて施工業者の選定につきいろいろ迷いましたが、何となく信頼のおける業者、安心して任せられる業者が第一と思ひ、それには当地における

【次ページへ続く】

中村武司さんの弟、三郎さんのこの家も、一年前に注文していただいた



実績もあり、以前よりの知り合いである安江建築さんをお願いすることにしました。

私共の作った間取りを基に、希望を充分に取入れ、親切にアドバイスもいただきました。

三月二十六日待望の上棟式を行うことができ、その節には村長さんより東濃松の柱を、商工会と建築組合から立派な記念品を賜りました。

村をあげて取組んでおられることは誠に心強く感謝のほかありません。これからは内部造作になりますが、東濃松の良さと技術を生かしていただき、立派な家が完成することを、楽しみにしております。



一日一棟分を スピード加工

プレカット工場が今年の四月一日から操業を始めました、といっても、まだ本命のプレカット機械は平成元年度末にしか間に合わないで、出来上がった工場建物の中で、手動操作の機械を使っているのが、このプレカット工場というものは、東白川村の木造建築にどのような影響を与えるのでしょうか。まずなんといっても大きなものは飛躍的な加工能力の増大です。

プレカット工場 稼働開始



建前もいよいよ最終段階、白川大工の見せどころ

工する木造りあるいは刻みと呼ばれる作業、建前よりあととは天井や床や、床の間や欄などを仕上げていく造作と呼ばれる作業に分れます。

プレカット工場は、その前の部分を機械化したもので、コンピュータ制御で、文字どおりあっというまに刻んでしまえます。そのスピードは三十五坪(百二十坪程度)の住宅一棟分の材料を一日で片付けてしまいます。

これを大工さん一人で行うとすれば、二十日以上かかるといわれます。これをうまく利用すれば

は今まで刻みにかかっていた労力をプレカットにまかせ、その分を造作に廻すことによつて、大工さんの労力の不足をどれだけか補うことができるでしょう。また、家を注文してくれたお客さんの立場になれば、契約してから完成までの工事期間が、短くなることにつながります。

コンピューターに おまかせ

プレカットの最大の特徴は、なんといっても正確で精密な加工ということ。加工断面が美しく正確に仕上がっているため、建前もスムーズに、きつちりと納まります。

このような特徴は、お客さまに対する強い説得力となつて、東白川村の木造住宅に対する信頼感を育て、注文の増加につながるものと期待されます。こ、でもうひとつ、このプレカット工場を、若い大工さんで育てる場として生かすことができないかという期待があります。

プレカット加工の加工断面



昔のように入親方に入子入して技術

術を覚えるということがすたれたなかで、これに変わる大工さんの養成の方法が見当りません。

また大工職人が敬遠されるもうひとつの理由は、身体ひとつを資本とした不安定な雇用条件にもあります。

コンピューターを使った工場加工という若い人達にも魅力のある仕事と、保険や年金を完備し、給料表に基づく給与システム、明確な就業規則など合理的な雇用条件でスタートしたプレカット協同組合

が、若い人達を受け入れて育てていくことが、私たちの村の中心的な地場産業に活力を与えてくれると思われれます。

新しい拡大の 拠点となるために

プレカット組合では、今年の始め、従業員を募集しました。その結果二十代から四十代までの男性四人が採用され、今後二人が採用予定となつていきます。

これらの人たちは、大工の経験のある人、まったく無い人、まちまちですが、村の建築産業の新しい分野を担っていく人たちであることはまちがいありません。

そして、プレカット加工され



期待をになってスタートしたプレカット工場

た材料を、次から次へと建てていく「建前チーム」も募集されています。

このようにひとつの新しい試み、新しい組織、新しい施設の誕生は、次々に新しい需用を拡大し、そこに新しい職場を生み出していきます。

いま盛んに言われている地域の活性化は、このような産業の発展をさすものだと思います。

その意味でプレカット組合の活動は、同業者の協同化によるパワーアップと、異なった業種との結び付きの可能性まで含みながら、もっと大きな何かを生み出す予感を伴って、東白川村の産業全体の成長に熱い期待をいだかせます。



若い感覚が生きている洋風建て(静岡県)

競争激化、住宅戦争

少しでも競争力を高め、東白川村の木造住宅産業の土台をしっかりとせよ。そのため、村が支援

さて、いかに東濃ひのきが立派な材料であっても、それだけでは注文がどんどん舞い込んで来るといわけにはいきません。住宅建築ブームであればあるほど、競争も激しいものがあります。この競争相手とは、ひとつは大手のメーカーによるプレハブ住宅であり、もう一方は同じ岐阜県内の木造住宅業者です。

特に家を持ちたいと思う若い人たちの希望は、例外なくお洒落な洋風住宅です。ですから木造住宅といえども、昔ながらの日本風のものだけにこだわってはい取り残されてしまうでしょう。若い注文には、若さで応えなければなりません。職人さんの高齢化が心配な現状ではありますが、これからの支えようとする若い技術者も育ちつつあります。古田俊之さん(柏本、古田材本店、31歳)は木材の計算、見

して続けられているのが、木造住宅建設促進事業で、めでたく建前を迎えられた家を訪れて、村長から松の柱一本を贈り、お祝いの言葉を述べます。これはお客さまにはたいへん喜ばれており、この制度ができた昭和六十一年から今日まで、すでに百三十棟を超えています。木造建築協同組合では、このほかに村の特産品をサービスタリ、産業祭などのイベントに招待したり、と懸命の宣伝活動を続けています。

若さが造る これからの住宅

積り書作成などにはパソコンを使い、自からも一級建築士として設計に若い才能を発揮しています。名古屋近郊のお客さんはほとんどが和洋折衷の住宅を注文されるので、木造住宅の良さを生かした洋風感覚住宅がポイントです……と語っています。また、木村恒久さん(上親田、木村建設、28歳)は、キヤドシステムというコンピュータソフトを使って、建物の立面図を作成し、お客さまとの商談に役立てています。

古田俊之さん



木村恒久さん



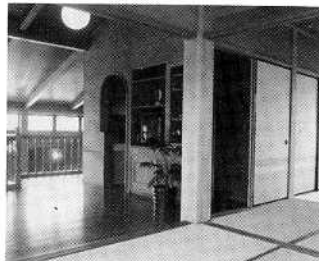
姿図を自動的に書いてくれるコンピュータは、力強い商売の味方だということ。建築というものは、消費資材と違って一度施工すれば、ずっとその注文主との付き合いが始まります。その将来は若い人にゆだねなくてはなりません。このような若い感覚が、長い間培われて来た「白川大工」の腕と合体して、これからの村の木造建築を支えていくのも遠くないことでしょう。

木村さんの言葉によると、お客さまが一番気にかけているのは、どんな姿の家ができるのか、ということ。その点、平面図



村長から柱のプレゼント(犬山市にて)

和室の向うは洋風ロビー



小和室とセットのリビングキッチン

子村の鬼舞

槌の子ウィーク

「第一回東白川槌の子
搜索大作戦」は、五月三日から五日まで、東は千葉県、西は広島県を始め、十一都道府県から三百名を超える参加者を集めて行われました。

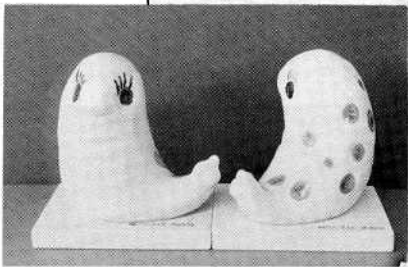
怖さ見たさの若葉かな
愛知県岩倉市 春日井秀夫
三日午後三時過ぎ、マイカーで、あるいは貸切バスで、続々と到着した参加者たちは、旅館で一休みしたあと、村民センターでの前夜祭にのぞみました。

ここで参加者たちをびっくりさせたのが、テレビ番組撮影のビデオカメラの取材合戦、何しろこの三日間に押しかけた報道

ローマンに満ちて現代の夢を追う

陣はテレビ七局、新聞六社、雑誌など三社、合せて九十人。そのマスコミ各社にインタビューなど受けながらの夕食が終ると、スライドを使って村の紹介、そして槌の子目撃談の披露、最後には槌の子踊りも飛び出して、明日の大搜索に期待を持たせながらも、和かに終わりました。さて翌日、神の使いであるという槌の子は、すばらしい青空をプレゼントしてくれました。

神道の村ならではのおこやかな神事の中で



つちのこ人形



上・親子づれ、いよいよ搜索だ！
中・あなた、そこに何か居るわヨ！
下・へびにさわってみる子供たち

槌の子商品



東海ラジオのコンサート録音



【社会福祉指定寄付】
現金十一万八千円―越原小学校大正九年卒業同窓会一同
現金二万円―匿名
〔東白川小学校へ〕
なかよし広場用和卓―63年度
東白川小学校PTA

■善意の寄付―敬称略

今井 芳郎 68歳 (大沢)
安江ひさゑ 85歳 (栃山)
今井 きよ 66歳 (大沢)
安江くによ 83歳 (神付)

おくやみ
申しあげます

（け）安江 良浩 (下親田)
今井 こそ枝 (大沢)

（い）いつまでも
おしあわせに

（じ）(加舎尾) 樋口 章久
恵 (長男) 知寛

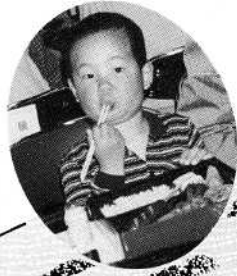
（ば）(神付) 熊崎 昭彦
里美 将大 (二男)

（ん）(上親田) 安江 友則
浩子 珠美 (二女)

■戸籍の窓 四月―敬称略

誕生おめでとう
ございます





のこから全園

5/3・4・5

参加者代表や報道関係者代表も玉串を捧げ、安全祈願ののち「エイエイオー」の槌の子コールで勇んで捜索現場へ繰り出して行ったのです。

神の里

槌の子出でよ深緑

愛知県扶桑町 澤田喜久一

現場本部には、各捜索隊から刻々と無線連絡が入って来ます。しまへびが獲れた、今度はまむしだ、そのたびに報道陣は右往左往。しかし、残念ながら槌の子は現われず、謎とロマンをあとに残しました。

今回の最大の獲物は一メートル以上のやまかがしという毒へびで、夢先案内人を務めた槌の子捜索会の強者どもも、始め



全園



つちのニハンカチ

（見出しの排句は参加者の作品です。）



おまわりさんにもインタビュー

てとい大物でした。しかし、本場の獲物は三百人の人たちが、家族で、団体でこの村を訪れ、槌の子という共通の夢の中で村の自然と人について手づくりでイベントに取り組んだ若者たち、おみやげを作り販売してくれた皆さん、たけのご飯をいやというほど炊いたお料理チームなど、槌の子軍団のすばらしいエネルギーの発見でありました。



コーヒーカップ

にぎやかに



著書

インタビューをうける大坪会長



灰皿



新藤県議も重裝備で参加



つちのニパンとクッキー

（け） （い） （じ） （ば） （ん）



務院に勤 坂町病 院、小 院、岐 阜病 院、大 卒、自 治医

時田医師着任

本年四月から東白川病院に赴任した時田元です。病院を見て施設の整っていることに驚かされました。地元を大切にしようとするこの気持ちを大事にして、村民の皆様のお役に立ちたいと思います。よろしく。

ぞうきん四十枚―五加婦人会
カーネーション造花百七十一
本―東白川村母子寡婦福祉会
いちい苗三本・松苗六十本―
東白川村森林組合
〔神戸保育園へ〕
わらぞうり五十足―田口貞造
（中通）
ぞうきん三十五枚―婦人会神
土支部
カーネーション造花―東白川
村母子寡婦福祉会
〔役場等へ〕
ぞうきん二十三枚（役場）十
五枚（村民センター）十枚（研
修館）―婦人会神土支部
立村百年のぼり二百本―東白
川村商工会

歴史の証言・立村百年の記録（第十三話）

「深山幽谷ニシテ朝夕川霧多ク、空気ハ常ニ湿気ヲ含ミ、表土能ク乾燥スル」……これが良質な茶の産する条件であると、古来から村に伝わっている。

白川茶は今も昔もこの条件に恵まれて私たちの村の特産中の特産として君臨してきた。

朝夕川霧多く、ここに白川茶育つ

天皇杯受賞までのそのあゆみ

大沢村蟠龍寺、今では定説となった白川茶の起源の地である。この寺の住職が山城国宇治から茶の実を持ち帰り、里人に与えて栽培を奨めたのが始まりと伝えられている。それがこの地方の風土に合っ
て、白川流域を中心に広まったという。

貞享年間（今から三百年前）には神土村から藩へ御用茶を納めた記録があり、それから毎年御用茶を納めるなど、当時もこの地方屈指の茶産地であった。

七度も炒って陰乾した…

七度炒りとは、茶の生葉を強く熱した平釜で炒って、それを手で揉み、やや火力を弱めた釜でまた炒って、これをまた揉む、こうして少しづつ温度を下げながら数回くり返して、陰乾にする製法であった。

その後、この製法は改良されて、一度釜で炒つたものを、むしろの上で丹念に揉み、日陰乾にした。

こうして作られたお茶は「青茶」と呼ばれて、明治二十年代の重要な産物となった。

明治三十七年ごろになって、生葉を蒸して揉む製法が普及し、乾燥方法も、火乾燥となったが、これが現在も続いている蒸し製法で、その後炉を使う方法に改良された。

このようにして生産された茶は、仕買人が各農家を回って買集め、仕上げ加工して、信州や飛騨方面へと売り捌かれたが、「白川茶」という名称はこのころから自然に生れたものらしい。



白川茶発祥の地、大沢の蟠龍寺あと

大正十三年には私たちの村で「第一回加茂郡製茶改良品評会」が開かれ、出品点数二八五点を数えたという。

今のように機械でお茶を加工するようになったのは大正十四年で、五加製茶組合が静岡県から高林式製茶機械を導入したことに始まる。

青年が白川茶の種を播いた

茶業が真の意味で近代化の方向に歩み始めたのは、昭和二十八年頃で、当時向学の意欲に燃える青年たちが自由的活動として取り組んだ「神土青年学級グループ」が「有利な換金作物の栽培研究」を学習テーマに、茶の栽培に取り組んだ。それまで、お茶といえば石垣

に生えたものしか知らなかった村の人たちは、彼等の学習の中から、ヤブキタ、ヤマトミドリなど茶にも品種があることを知った。

いつの時代でも、時代を動かすものは若い力である。

彼等の若さはこれら茶の優良品種の苗木作りに挑戦し、村内の希望農家へ配布するなど、文字どおり先駆者としての活動は目ざましかった。

このようにして蓄積された研究成果が、昭和三十五年、新農村計画の実施で一気に動き出すこととなった。

新農村計画とは、その地域の特性を活かした新しい農業を作ろうというもので、今はやりの活性化事業の草分けであったが、この事業で、全国でも始めてのテラス式開墾（山を開墾して階段状の茶畑をつくる）が行われたのであった。

その後進められた山麓開墾による茶園造成は、岐阜県内はもとより、

全国各地のモデルケースとなり、東白川方式と呼ばれる



日本の茶業の最高峰 天皇杯（昭和56年）

で大きく貢献した。

ちなみに、昭和三十四年の村の茶園面積は二十一ヘクタールであったものが、昭和五十四年に百四十四ヘクタールと増加し、販売額も昭和四十年の七百五十四万六千円に対し、現在は二億円と成長している。

白川茶をここまで盛り立てて来た大きな要素のひとつは、「品質の良さ」にある。

良いものを作ることで定評のある東白川村の人たちは、一番茶の初期は手摘み、あとは機械刈り、という二段摘採方式を編み出し、生葉の受入れ時に等級を付け、販売した荷口ごとに生葉代を精算するなど、キメ細かいシステムを次々と工夫して白川茶の品質を全国のトップレベルへとしだいに押し上げて行った。

これらのシステムはほとんど全国で始めて実施されたものであり、今では広く普及して日本の茶業界の近代化に役立っている。

これらの成果が、ついに昭和五十六年、天皇杯受賞によって頂点に達したのである。

消防パワー激突！ 第3分団に栄冠

話題集れ!

あなたのまわりに明るい話題がありましたら係まで連絡ください。

連絡先 商工広報係 有線2155番

「お父ちゃん、がんばって！」
 今年はいつもとひとあじ違った消防操法大会が繰り広げられました。

第二十五回東白川村消防操法大会は、四月三十日、総合運動場で開かれましたが、今年立村百年記念の年でもあり、消防団の活動を目のあたりに見てもらおうと、団員家族も招かれて、多勢の人が見守る中、自動車ポンプ二チーム、小型ポンプ十二チームがスピードと技を競いました。

その結果、自動車ポンプの部で第三分団が小型動力ポンプでは第三分団第十一ポンプが

助け合いの心を学ぶ

東白川小学校は福祉協力校の指定を受けて二年目を終えたので、このほどその活動記録「きずな」が発刊されました。

その中から、一年生やすえかおりの運動会の作文の一節。

「にゅうじょうもんをでてから、あおいずばんのおじいさんがこ

栄冠を獲得しました。
 入賞ポンプと個人表彰を受けた皆さんは次のとおりです。

▽自動車ポンプの部△

優勝 第三分団自動車ポンプ
 指揮者 田口喜一 (陰地)
 一番員 桂川一喜 (陰地)
 二番員 大坪浩之 (陰地)
 三番員 松岡昭信 (陰地)
 四番員 牧野友紀央 (日向)



助け合い募金を手渡す子どもたち

▽小型動力ポンプの部△

優勝 第三分団第十一ポンプ
 指揮者 安江隆明 (栃山)
 一番員 桂川幸裕 (陰地)
 二番員 山田久陸 (黒淵)
 三番員 安江義人 (黒淵)

準優勝 第二分団第七ポンプ
 三位 第二分団第十四ポンプ
 四位 第一分団 第四ポンプ
 五位 第一分団 第六ポンプ

▽個人表彰△

自動車ポンプ 指揮者 該当者なし

みつばつつじが白い?

白いみつばつつじが大口の古田宗一さんの山にあった！
 昔はそのことに気が付かず草といっしょに刈ってしまったが、十五、六年前から株を残して花を咲かせたところ、そのうちの一株に白い花が咲いた。
 それから十年、毎年白い花を咲かせ続けて

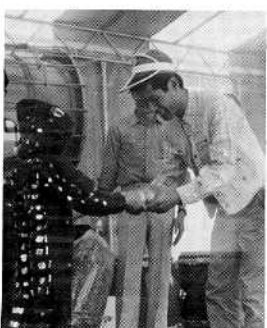


坊やにはげまされて

今年第三十三回加茂郡消防操法大会が、私たちの村で開催されます。今回は自動車ポンプの部で、六月十八日のこの大会には第三分団と第一分団が出場し、八月の岐阜県大会への出場権を賭けて戦います。

可愛いプレゼンター

お母さん手づくりの植の子のぬいぐるみを着て、神戸聖加ちゃん(7)康成君(4)が登場、搜索イベントの賞品を手渡しました。



左の写真上の方が白花、下は普通の花



↑博覧会
デザイン博覧会
↓
世界デザイン博覧会
（役場にある）
デザイン博覧会
（役場にある）
世界デザイン博覧会
（役場にある）
国際陶磁器展
前売入場券

デザイン博などの 前売券発売中

昨年の未来博に続いて、今年も各地で博覧会が開かれます。七月十五日から十一月二十六日までの世界デザイン博（名古屋市）。

十月二十二日から十一月五日までの国際陶磁器フェスティバル美濃、89は多治見市となっています。

その前売入場券を役場で扱っていますので、ぜひお求め下さい。いずれも割引で、次のようになります。

お知らせ

家内労働旬間
(5月21日～31日)

▼デザイン博 大人二千五百円、老人・高校生千八百円、小学生千二百円。
六月十五日まで発売。

▼陶磁器フェスティバル 大人八百円
お申込みは、役場総務課（電話八局三二二一番、有線二二四八番へ）。

三十三件の 石造物を紹介

村内の石造物について収録した「東白川村の石造物（第二集）」が教育委員会と文化財審議会によって発刊されました。

これは、昭和五十八年に発刊された第一集に続くもので、村のいたる所に鎮座する仏像や名号塔などを写真入りで紹介しています。

神道の村には石像などは少ないのではないかと思いがちですが、しかし、ページをめくっていくと、六地像、供養塔、石祠、愛宕さま、道標、不動明、開田碑……実にさまざまな石造物があることに驚きます。

東白川村の石造物 (第2集)

東白川村教育委員会

収録した三十三物件すべてに写真と詳しい説明が記されており、先人の暮らしをかえりみるとともに、歴史のロマンにふれる一冊といえます。

この冊子は五月から役場窓口と教育委員会で一般販売しています。

● 東白川村の石造物（第一集） 六百円

● ふるさとの文化財、千円

● 東白川村の石造物（第二集） 六百円

立村百年を契機に、村の歴史の物語りをたどってみませんか？

職安で求人 説明会開催

美濃加茂公共職業安定所では七月一日の求人受付開始を前に求人説明会を開催します。

今年には次のとおり開かれますので、採用計画のある企業は、ぜひご出席下さい。

● 開催日時 平成元年六月十四日（水）午後一時三十分から三時。

● 開催場所、美濃加茂市文化会館、美濃加茂市島町二丁目、電話〇五七四―二五―一〇八

詳しくは美濃加茂公共職業安定所学卒係（〇五七四―二五―二一七八）までおたずね下さい。

電波を正しく 使って下さい

六月一日から十日までは電波法違反防止旬間です。

無線通信には、防災や救急医療など、私たちの人命や財産の保護に関して、重大な役割を担っているものがあります。

これを妨害することは、私たちの生活に重要な危険をもたらすこととなります。

次のようなことに注意しましょう。

一、無線局を開設しようとする人は、郵政大臣の免許を受けて使しましょう。

二、郵政大臣の免許を受けないで無線機を設置したり、使用すると、罰則の適用を受け、一年以下の懲役又は二十万円以下の罰金に処せられますから注意して下さい。

三、ハイパワー市民ラジオは、使わないようにしましょう。

四、不法なコードレス電話は、使わないようにして下さい。

電波は限りある資源です。これを、できるだけ多くの人に公平に、しかも能率的に使用できるように、電波法というルールに従って活用して下さい。

東海電気通信監理局電気通信部調査課（電話〇五二―九七一―九六四三）

シリーズ 思いやりと暮らし Ⅱ その八 Ⅱ 道路の身になって

「論語」という書物の中に「道踏まれてもいからず」という言葉があります。道ですから決して不満は言いません。でも、もしそれがあなた自身だとしたらどうでしょうか。車、人、犬や猫……。踏むだけではありません。

ん。いろいろなものが落ちてきます。嘔吐物も唾も痰も……。そうしたものに耐えてゆけますか？

相手の立場や思いを押し量りながら、いたわりの心を持って生きたいものです。

今月の図書



妹



妹 小中夜子著

1941年の春、小中沢一家は満州開拓団に参加した。やがて戦争は敗れて、8月15日とともに天と地が逆転「満州」在住の日本人は、追われる立場となった。難民収容所で、つぎつぎと病気にたおれ骨と皮ばかりになって行く仲間の姿を見てこれ以上生きてゆくことは困難と判断して我が子を現地にたくした。それから30年手隅した我子を探す物語りです。

こぶしの花 大日方妙子著

17歳で発病した後、入退院と放射線治療を繰り返して、21歳で夭折した我が子を見守る母の記録である。病状が進んでいくなかで、生来を信じて闘病と勉学に打ち込む。日常生活とは別次元の「音楽」という世界の中に自分を置けたことを喜び、短い青春を生きぬいた若者の姿に感動する読み物です。

ふるさとのことば ⑤

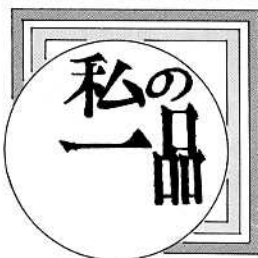
★ あんばい

「あんばええ」という語をよく使います。「ぐあいがいい。調子がいい」という意味で、このあたりから飛騨方面にかけて多く使われる語のようです。「この子にあんばええ帽子やあつたら買ってきとくれ」、「あんばええ嫁さ見つかったげなの」という会話を聞くと、なんとなくほのぼのとした気分になります。さて、この「あんばええ」は共通語的にいえば「あんばいがいい」となります。「あんばい」は「塩梅」「案配」「安排」「安排」などと書きます



が、普通、「塩梅」が多く用いられるようです。「塩梅」は、塩と梅の酢で食物の味加減を調えるという意で、「案配」「安排」「安排」などは、程よく配列する意ですが、中世末期から近世初頭にかけて混同されて使われた語とされています。また、一方に「あわい(間)」からとする説もあるようです。身体の具合や健康状態についても「あんばい」を使います。「あんばい悪かったもんやで夜中にお医者さまに来てもらった」

「兄さまあんばい悪うて入院しないたげなの」などという使い方はどこでも聞かれます。人が亡くなったときにも「あんばい」を使います。「長いこと病んどいたげなああんばい悪かったげなの」といいます。葬式に行ったときなどにも「おじいさんあんばい悪かったげなが……」とお悔みを言います。「あんばい」は、その他にも「ええあんばいやのう」と、天氣がすばらしくいいという表現に使います。「田んぼの水のあんばいを見といてくりよ」という使い方もあります。「あんばいしき(塩梅式)」という語を使う人もあります。「しき」は接尾語ですが、具合のほど、様子など物事の状態のよしあしについていう語です。



筆のたより



林一巳さん。(平)

「先生にとってもいい話を聞きました。『幸せな苦勞』という話です。周りの人々が与えてくれた幸せのおかげで私はがんばることができ、それが『幸せな苦勞』ということなんです。」

平の林一巳さんに書道を習った子供が成長して、遠い勤め先から御礼の手紙が届きます。その手紙の束、それが大切な私の一品です……と林さんは目を細めます。

「私は名古屋の生活にも慣れてがんばっています。先生に教えられた、みんなに感謝する」という気持をいつも頭においています。」

林さんは昭和四十七年、四十七歳の時から神付の安江正文先

生に書道を習い始め、その後先生の助言で子供の指導を手がけたことが、自分自身の自立につながった……と語りま

す。林さんの指導の特徴は、字を教えるだけでなく、「自分の仕事に喜びを持ち、感謝の気持をもつ、それが書道を学ぶ道である」と、心の大切さを説くことにあります。

そのために、習字の時間に手を休めて、話を聞かせたり、昔の遊びを取り入れたり、子供たちとのふれあいを大切にしています。

こうして毎日十人近い子供たちが、今日も訪れ、そして巣立って行きます。

「さあ今日も、心の杖をしっかりと突いて、襲う邪心も自分の心の杖でふりはらい、地上無限の幸せを求めて、昭和四十八年に林さんが作った詩の一節ですが、林さんにとっての心の杖、それは何だったでしょう……。」

筆もてば幼き頃のなつかしく一点一画たしかめて書く(一巳)

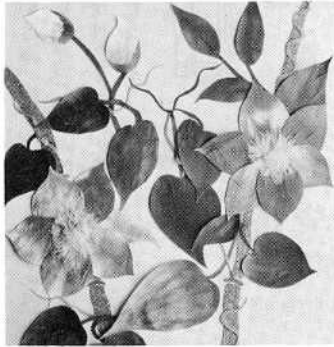
お寄せください
高価なものでなくても、その人にとっては人生の支えであり、あるときはその一生さえ支配するような「私の一品」お知らせ下さい。

私の作品



▲千支=巳

今井 源さん (大沢)



▲クレマキス(廃物利用アイデア作品)

安江まつゑさん (平)



安江円香ちゃん(一歳↓下親田)
道彦さん・千伴子さん(長女)

すくすく育て



▶少女
田口玉緒さん(上親田)

短歌



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月20日までに、神土伊藤重雄宛に出してください。

- 新しきゴム長靴の履き心地力をこめてもぐら穴を踏む
暖冬の山の昼餉に箸止めて耳を澄ませば鶯の鳴く
田口 巽午
- 潮を吸む厨子王安寿の物語り由良の浜辺は春日燦々
安江 香
- 駅に着く電車にゆるく風動き散らせし桜を車体も纏ふ
定置網の浮子に光の反射して白くきらめき拡がりてゆく
今井 かな
- 桜咲く天の橋立の丘の上にブルートの海を逆さにのぞく
氷見の海人疎なる砂浜に時にはソ領のこみ流れ来と
安江 龍玉
- 親の名も知らざるままに中国に生きよといふはむごし人の世
鶯の声追ひながら孫達はカメラ片手に野山を駆ける
伊藤 重雄
- 氷見の海白波立つる荒磯の岩に緑の小松生ひけり
竹の子を見舞ふ足元に五センチか早く伸びよと撫でて帰りぬ
早瀬 久子
- 前掛の赤きをかけて狐二匹対ひ合ひ居り豊川稲荷
虫とると川面に跳ぬる春の魚夕陽に銀鱗まぶしく光る
田口 一枝
- 福寿草いちめん咲きぬ露のとうとと一緒に掘りて庭に植えんか
古田よし江
- 満開の桜の下で久々の班の集ひの面々たのしく
安江 守平
- 奥山に夫が背負ひて植えし樹を覗めて今日は車で植樹に
十回の回を重ねしきょうだい会八十路の姉はいよよ健か
古田五保子
- 天皇の崩御におずかに涙しぬ吾も大和の裔のひとりか
三戸 きり
- 姉妹と思へば許せぬことのあり逢はで帰せば可愛さつりの来
東京 桂川 熊吉
- 「百姓はだちかん」などと言ふ勿れ新世紀には芽を吹くといふ
失 名
- 起ち上る動作を省き四つ這ひに部屋を移れば猫も従ふ(足妻え老人)
山川 冽
- 田口 良三

○正誤：前号安江幸さん作中「動き過ぎてもが正し